

● <大きな木> わくわくどきどきのプレーパーク!!

志免子育て支援コミュニティおおきな木と志免町の協働事業（平成 27 年度志免町協働事業「地域で子育て応援事業」）である「プレーパーク」が、6月6日（土）に平成の森公園にて開催されました。プレーパークとは、子どもが自由に遊びを作り出して、自分のやりたいことをとことん遊ぶ場です。ここでは決められた遊び方が用意されているわけではなく、段ボール、ロープ、竹などを自由な発想で使いながら遊ぶことができます。



▲ のこぎりを使って自由に遊ぶ子どもたち

一人で段ボールを自由自在に切って遊んでいた子どもは「楽しかった」と、とても満足気な顔、初めて参加をしたというお母さんは、「なかなか外で自由に遊べないので良かった」と感想を話していました。

この日は約 100 人の親子が参加し、それぞれの楽しみ方でワイワイと遊びました。おおきな木の山崎代表は、「日頃の遊びとの違いに気づいてもらい、プレーパークで遊んだことを持ち帰って普段の遊びに取り入れてもらえたら嬉しい」と話していました。

今年度は年 4 回の開催を予定していて、次回は 8 月 4 日（火）に開催予定とのこと。詳細はおおきな木のホームページに掲載されます。関心のある方はぜひ参加してみましょう。

（取材：まちづくり支援室：斉藤・本田）

● <68 カフェ> 志免をテーマにアツイトーク♪

6/14(土)、シーメイトホールに於いて、「第 1 回 しめと語りおしゃべりカフェ」を開催することができました。

当日は、参加された皆様が立場を超え、対等な関係で、未来の志免町について熱く語り合える場になったのではないかと思います。

知っている様で知らなかった「ご当地クイズ」、テーマ毎に分かれてのグループワーク。個の力、地域の力を生かしながら、豊かなまちづくりに向けたアイデアが、数多く出されていました。



▲ テーマ毎に分かれて熱い議論が交わされました

対話には、人と人との関係をつくり出す大きな力がありますが、①見る、②考える、③言うから、④やると言うこと、行動に移す事が大切であろうと考えます。その為にも、このカフェの継続（くりかえす事）が大事だと思っています。

準備段階に於いて、多くの中学生に声をかけさせていただきましたが、残念ながら参加者はゼロ、未来のまちの姿を描く為には、若者の参加も欠かせない。このことは反省として残りましたが、ご参加いただいた皆様にはお忙しい中、大変ありがとうございました。それぞれの皆さまのご意見を参考に、第 2 回の開催に向けスタートします。

（報告：68 カフェ実行委員会：川崎）

● 団体リーフ活用実例を紹介します(1)



■ A4 両面に印刷して活用!

<公園活用プロジェクトX>

6月12日開催子育てネットワーク会議にて、時間をもらいそうめん流しの紹介をしました。両面を活用し、イベントと一緒に団体の活動紹介もできたことで、団体の宣伝につながりました。

その場で会議参加団体「すてっぷくらぶ」より依頼があり、打ち合わせへと発展していました。



■ ポスターとして活用!

<NPO 法人ウエルフェアだんだん>

<2025 超高齢社会を考える会>

5月17日、福祉課主催「認知症サポーター等フォローアップ研修会」にて、介護施設・病院・地域福祉情報のチラシやリーフレットなどと一緒に会場入り口付近に掲示しました。多くの人の目にとまり話題に上っていました。



■ 後援依頼などの添付書類として活用!

<Team 前向き> <68 カフェ>

口頭での説明とともに、団体リーフを提出、団体の基礎情報がコンパクトにまとめているので、団体紹介の書類に最適です。